

# 甲南大学法科大学院入学試験問題について

2018年度秋入学・2019年春入学  
一般入学試験（B日程・8月18日分）

## 試験科目：刑法

### 1. 出題趣旨

本問は、東京地判平成7年10月9日判時1598号155頁に類似した事案を素材として、共謀の射程や承継的共同正犯の成否等、刑法総論の重要問題を中心に、具体的な事実関係を分析してそれに法規範を適用する能力及び論理的思考力・論述力を試すものである。

### 2. 採点実感

問題文に表れた事実がどのような犯罪の成否に関係があると考えているかについての一応の記述はみられるものの、いかなる事実がどのような法的問題点を提起するのかに関する記述が不十分であるものや、各論点ないし適用条文の相互関係に関する理解が正確とはいえない答案などが、散見された。

### 3. 学習方法

条文を確認しながら教科書を読みこむことが基本である。判例は、判示部分だけでなく、事案とセットで理解する必要がある。さらに、法的論争点については、抽象的に説明するのではなく、典型例・具体例を挙げながら説明できるよう心掛けられたい。